

延岡市地域公共交通網形成計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）及び市の考え方

区分	No.	意見の概要	本市の考え方・対応	関連する実施事業等	掲載ページ
ネットワークの改善に関すること	1	市民全てが満足する要望を聞くことは財源の面でも難しいと思うが、可能な限り今後各地域の市民と多くの話し合いの場を設け、市内一円が均等、平等に交通網の形成ができるようお願いしたい。	今回の計画案はあくまでも総論的なもので、今後は各地域ごとのニーズに合った交通の在り方を、それぞれの地域の方々と一緒に議論していきたいと考えております。 例えば、本計画の事業4や事業20において、利用低迷路線の沿線住民や交通空白地に在住の皆様による話し合いの場を設けることとしておりますほか、それ以外の機会におきましても、地域の皆様と意見交換する場をつくり、市民にとって使い勝手の良い地域交通の実現につなげてまいります。	事業4、20	73、84
	2	公共交通ならもっと時間を費やしてもらいたい、幅広い意見もあるのではないかと思います。			
	3	(大武地区バス路線について) 大武町の中を走ってもらえないか。	今後、大武地区の方々と区を通して話し合いができればと考えております。 具体的には、現在、大武町においては乗合タクシー「須佐～大武」線及び宮崎交通(株)の「延岡駅～延岡営業所」線が運行しておりますが、本計画の事業4により、乗合タクシー等の利用低迷路線においては地域の皆様との座談会を通じて使い勝手のよい運行形態を目指すこととしております。 したがって、この座談会を通じて、乗合タクシーだけでなく路線バスにつきましても意見交換ができればと考えております。	事業4	73
	4	(大武地区バス路線について) 近くにバス停がほしい。	上記No.3で回答したように、乗合タクシーや路線バスについての意見交換を行いたいと考えており、その中で、バス停設置の在り方についても話し合い、また並行して警察等との協議も行いながら検討してまいります。	事業4	73
	5	上伊形町内においても今後5～10年くらいで免許返納者（高齢者）が多くなり、買物、通院等の利用が困難な家庭が出てくるので、広域農道が開通したら、上伊形町、石田町、西ノ迫地域まわりで病院、買物等に行ける10人程度乗車できるマイクロバスの運行をお願いしたい。	今後、ご指摘の地域の方々と区を通して話し合いができればと考えております。 本計画の事業5に挙げております市民が主体となってタクシー等を活用する移動サポート策等についても地域の皆様と一緒に検討したいと考えております。	事業5	74

延岡市地域公共交通網形成計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）及び市の考え方

区分	No.	意見の概要	本市の考え方・対応	関連する実施事業等	掲載ページ
ネットワークの改善に関すること	6	高齢化とともに運転免許証の返納を考えないといけないが、他方で体調の変化に伴い通院手段に苦慮している。 沖田町周辺の公共交通の運行（午前と午後の1便、水曜、金曜のみ）とコースの延長、迂回「小野神社→冷尻→石田→沖田→平原」、「片田→沖田→平原」、「若葉→沖田→平原」の検討をお願いしたい。	ご指摘の関係地域の方々とも区を通して話し合いができればと考えております。 南部市街地におきましても、本計画の事業7に挙げておりますとおり、生活する上でアクセスしやすい移動環境の実現を目指すためバス路線の見直しを検討することとしております。 なお、住宅密集地においては道路幅が狭いことや、道路によっては車両の重量制限の規制がある箇所もあり、バスの運行が難しい地域もありますが、そのような地域においては、事業5に挙げております市民が主体となってタクシー等を活用する移動サポート策等について地域の皆様方と一緒に検討できればと考えております。	事業5、7	74、75
利用促進等に関すること	7	ある程度の有料化、高齢者等、限られた人に限らず、多くの市民の方々が利用促進していかないと存続も難しいと思う。	公共交通を確保・維持していくためには、高齢者に限らず、普段バス等を使い慣れていない市民にも利用していただくことが必要と考えております。本計画の事業13～17に挙げているとおり、公共交通の利用を再認識していただける利用促進策や関係者との連携を通じた利用促進企画の推進に努めてまいります。	事業13～17	79～83
	8	(大武地区バス路線について) バスの走るコース、乗り方、料金が分からない。	平成30年度に市内の1地区において高齢者向けのバスの乗り方教室を実施いたしました。今後もそのような取り組みを行っていきたくと考えております。 また、本計画の事業16や事業17において「お出かけ企画」を挙げております。この企画では、地域の皆様にバスの乗り方や路線等を説明し、一緒にバスに乗り込んで商業施設等に出かけるような内容となっております。	事業16、17	82～83
	9	(大武地区バス路線について) 試乗会をやってほしい。料金は支払う。	このように、地域や利用者に合わせて乗車企画を実施することで、バスの利用促進を図ってまいりたいと考えております。		
	10	(大武地区バス路線について) 営業所がどこにあるかもわからない。市内をバスで回ってみたい。	平成29年4月より宮崎交通(株)延岡営業所は大武町の鉄工団地内に移転しております。 本計画の事業16や事業17で挙げております「お出かけ企画」において、路線バスを利用する中で、営業所についてもご紹介できるような内容にしたいと考えております。	事業16、17	82～83

延岡市地域公共交通網形成計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）及び市の考え方

区分	No.	意見の概要	本市の考え方・対応	関連する実施事業等	掲載ページ
その他	11	<p>民間公共交通機関への依存は、将来的には困難であると考ええる。公的資金負担の大きい路線から「Uber」の導入に踏み切る時期に来ていると思う。</p> <p>民間公共交通機関との競合、Uberシステムのコスト、高齢者のスマートフォン利用率など課題があるが、近い将来AI運転なども現実味を帯びてきていることから、Uberの試験的導入を提案する。</p>	<p>Uberにつきましては、平成27年2月に福岡市内で社会実験が行われていましたが、国土交通省から法に違反する「白タク」行為に当たる恐れがあるとして中止の指導が入り、同年3月に実験を打ち切られている経緯があります。また、それ以降も国土交通省は導入に慎重な姿勢を示している状況です。</p> <p>したがって、Uberを含むライドシェア規制の動向につきましては、国の動向等を注視しながら、可能な取組みがあるとすればどのようなことか等も探ってまいりたいと考えております。</p>	—	—
	12	<p>現在、北方町では週1回乗合タクシーが運行しているが、現状は町内までなので、延長して延岡市街地まで行けないか。</p> <p>また、高校生のスクールバスの問題もある。</p> <p>さらに、この2点をタイアップした運行はできないか。</p>	<p>ご指摘の点についても、今後地域の皆様方と一緒に検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、現在、北方町の乗合タクシーは9路線あり、路線によって週1回又は2回の運行を行っており、終点は北方町総合支所となっておりますが、これは、国の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」に「路線バスと実質的に競合することのないよう十分に検討すべきである」と記載されていることから、宮崎交通(株)が運行を行っております「延岡駅～高千穂」線との競合を避けるため、北方町総合支所までの運行としております。</p> <p>ただ、今後、延伸の可能性についても関係機関と協議していきたいと考えております。</p> <p>また、スクールバスを市民の皆様が利用することにつきましても検討してまいります。</p>	—	—
	13	<p>(大武地区バス路線について)</p> <p>大型バスでなくても小型のバスにならないか。</p>	<p>ご指摘の点につきまして、関係機関と協議してまいります。</p>	—	—

延岡市地域公共交通網形成計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）及び市の考え方

区分	No.	意見の概要	本市の考え方・対応	関連する実施事業等	掲載ページ
その他	14	(大武地区バス路線について) 「回送中」のバスばかりを見る。これには乗れないのか。	<p>「回送中」のバスは運用の都合上発生するものであり、法令上、回送バスに乗車することはできません。平成29年4月に宮崎交通(株)延岡営業所が大武町に移転しておりますので、営業所に戻る回送バスをよくご覧になられているものと思われます。</p> <p>ただ、何らかの柔軟な対応が少しでもできればとも考えますので、宮崎交通(株)にご意見を伝えながら協議してまいります。</p>	—	—
	15	(大武地区バス路線について) どこでも乗車・下車できるバスがあれば、病院にも行ける。	<p>ご指摘の点につきましては、どのような選択肢が考えられるか、地域ごとの話し合いの中で検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、「どこでも乗車・下車できるバス」の事例といたしまして、予約制（デマンド）のコミュニティバス等が考えられますが、現状としましては、コミュニティバスの導入に当たっては国の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」に「路線バスと実質的に競合することのないよう十分に検討すべきである」とありますので、まずは、宮崎交通(株)の「延岡駅～延岡営業所」線のご利用を考えていただくこととなりますが、それでもなお、どのような可能性があるか検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、路線バスにおきましても、バス停がない区間において乗降ができる「フリー乗降区間」という制度がございますが、交通安全上の課題があり、市内では交通量が少ない中山間地等でのみ取り入れられておりますが、この拡大の可能性についても関係機関と協議してまいります。</p>	—	—